

KOBRA 用加温引張治具の測定例

従来の KOBRA 用試料引張治具に上下から透明ヒータを取付け、温度と荷重を変えたときの位相差変化を測定出来るようにしました。(図 1、図 2)

適用装置

位相差測定装置 KOBRA-WR
楕円偏光測定装置 KOBRA-WPR

※いずれも固定試料台に治具をセットして測定

測定方法

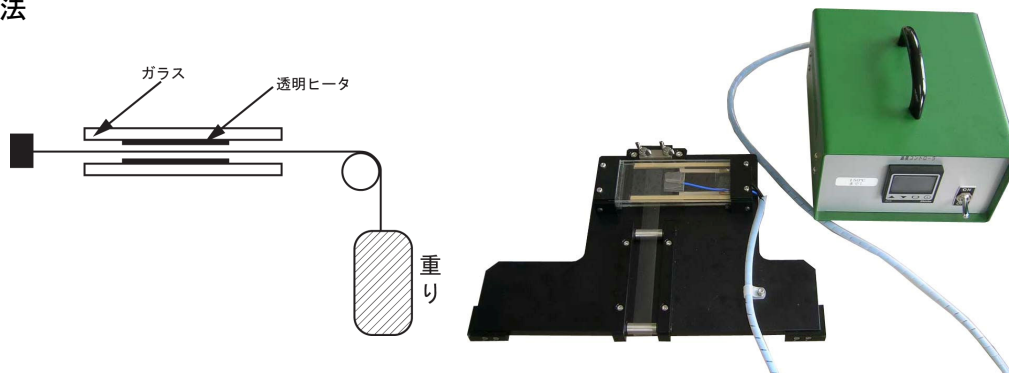


図 1 治具の概略図 (断面)

図 2 治具の写真

測定例

ポリカーボネートを測定した結果を図 3 に示します。

これを光弾性係数と温度で表示したグラフが図 4 になり、ポリカーボネートの光弾性係数が温度に対してほぼ比例していることが判ります。

なお、透明ヒータ自身にも位相差が見られるため、測定結果から透明ヒータの位相差を差し引く必要があります。

図3 PCフィルムの各温度での荷重と位相差との関係

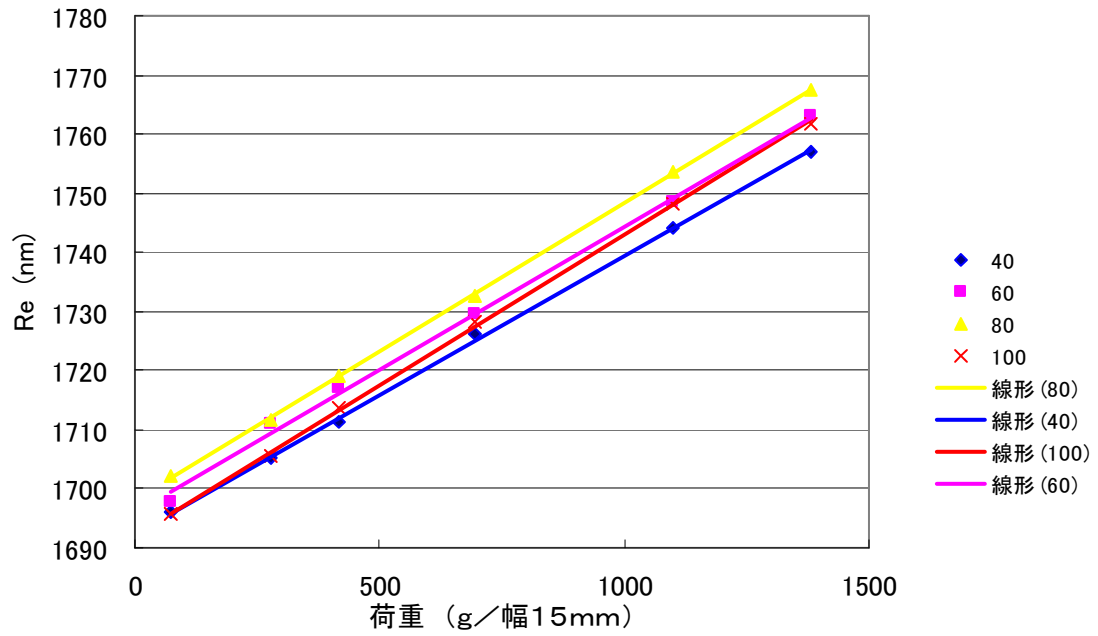


図4 PCフィルムの光弾性係数の温度依存性

